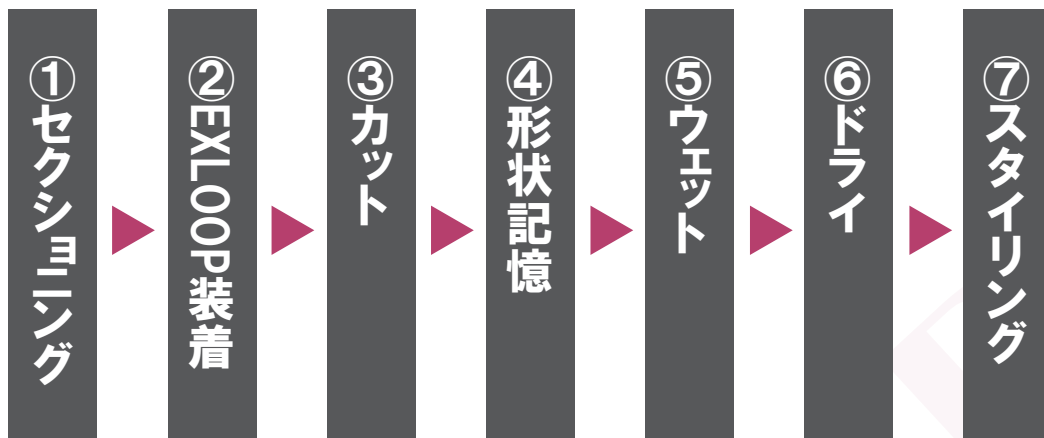


HAIRLOOP

Basic book

ヘアループ施術の一連の流れ



ヘアループ施術に必要な道具



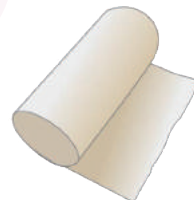
■EXLOOP

人工毛の「EXLOOP」です。EXLOOP 専用のラッチが付いたニードルです。



■ニードル

EXLOOP 専用のラッチが付いたニードルです。



■リード

セクションニングした部分に敷くことで作業がしやすくなります。耐熱性がある市販のクッキングペーパーをおすすめします。



■シングルピン

装着した EXLOOP の固定など作業効率をあげます。



■スタンド

ストローの状態の EXLOOP をセットすることで EXLOOP をニードルですくう作業がスムーズになります。

その他、ダッカー・スプレーヤー・リングコームなど

① セクショニング

●**セクショニングの前に**：プレシャンプーで抜ける毛をあらかじめ洗い落とし、EXLOOP を抜けやすい毛に結ぶリスクを回避します。

●**セクショニング**：施術するゾーンに、シングルピンを使って髪とリードを固定します。

●**スライス**：スライスは上下 5mm 程度の幅でジグザグにとることで自然な段差が生まれ、立体感を出すことができます。



② EXLOOP 装着

●**EXLOOP 取出し**：台座からストローを取る際は下から順番にゆっくり取ります。上から取ると毛がもつれます。ストローに結んである EXLOOP を均等に広げておくと作業がスムーズです。



●**EXLOOP 装着**：
a: しっかりした地毛に結ぶのが長持ちさせるコツです。EXLOOP は左→右に装着していきます（左利きの方は右→左）。
b: ばらばらに装着すると結んだ毛が邪魔になり、作業効率が悪くなってしまいますので、シングルピンに固定していきます。
c: EXLOOP を絞める際に、地毛が「く」の字になるようにしっかり絞めます。



●**装着間隔**：1つの毛根に対して、1本の EXLOOP を装着できます。装着の間隔が狭いほど、ボリュームを出すことができます。



③ カット

チョップカットが基本です。
地毛に馴染みやすく、段差をつけることで
ボリュームが出やすくなります。

ベースのデザインを変えない場合は、地毛よりも
5mm 程度短くカットします。

毛先に動きが必要な場合は、地毛と同じ長さに
カットすることで、形状記憶させたカールが活かせます。



④ 形状記憶

形状記憶とは？

カールアイロンを使って EXLOOP に熱量を加えることで、形状を記憶することが出来ます。形状記憶で下記のような効果を生み、スタイルの再現性を高めます。

<形状記憶効果>

- ・根元を立ち上がらせてボリュームを出す
- ・緩やかなウェーブを作って、地毛に馴染ませる
- ・パーマの効果を出す ※11P 応用編参照

●**形状記憶ベーシック**：19 ミリと 26 ミリのカールアイロンを使って、装着後の EXLOOP に形状を記憶させます。

- 施術ポイント：前髪など。自然に地毛とふんわりとなじませる
- カールアイロン：19 ミリカールアイロン・26 ミリカールアイロン
- 熱量 温度：150℃-170℃
- 時間：根元と中間から毛先にかけて、それぞれ 10 秒固定。
その後 EXLOOP から余熱が無くなるまで冷まします。



①19 ミリ 150℃-170℃のカールアイロンで根元に形状記憶します。



②中間から根元に向かって巻きます。



③根元まで巻いたら10秒間固定します。



④カールを崩さないようにカールアイロンを抜き、手のひらで冷まします。



⑤次に中間から毛先に形状記憶します。26 ミリ 150℃-170℃のカールアイロンで巻きます。



⑥毛先から中間まで巻きます。先に巻いた根元まで巻き込まないようにします。26 ミリに上書きされてしまいます。



⑦中間で10秒間固定し手のひらで冷まします。



⑧冷めたら形状記憶の完成です。

⑤ ウェット

形状記憶した EXLOOP と地毛を馴染ませるために、装着した EXLOOP をスプレーで軽く湿らせます。スプレー後に指で馴染ませます。



⑥ ドライ

リードとシングルピンを外して、ウェットした EXLOOP を、ハンドドライで乾かします。

⑦ スタイリング

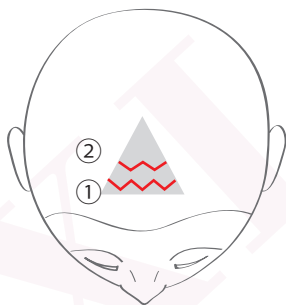
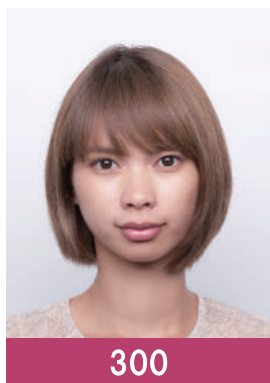
スタイリングしていきます。

■ 前髪の施術パターン

パターン1：前髪のボリュームをつくる



前髪全体のボリュームをアップして、ナチュラルな前髪をつくります。初回に300本、次回の施術時に+200本をイメージします。



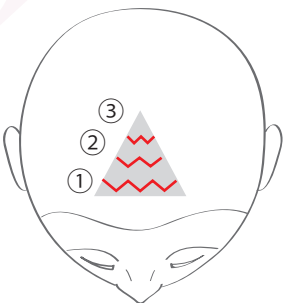
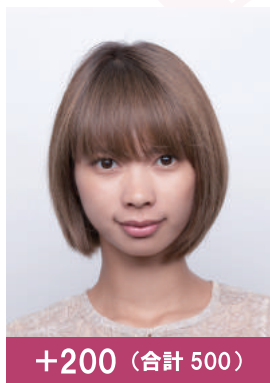
<初回 300本>

① 6 LOOP×34束=204本

フロント生え際より2cm上
約5cm幅(黒目と黒目の間隔)で装着

② 6 LOOP×17束=102本

①のセクションよりも
約2cm上に3cm幅で装着



<追加 200本>

② 6 LOOP×17束=102本

②のセクションに17束102本を
4cm幅で追加装着

③ 6 LOOP×17束=102本

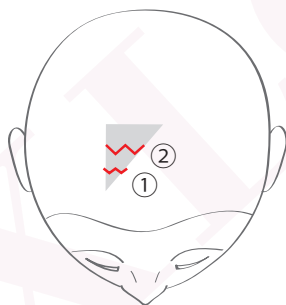
②のセクションよりも
2cm上に3cm幅で
17束102本をさらに装着



パターン2：前髪の分け目が気になる



前髪が分かれるクセをカバーし、ナチュラルな仕上がりをつくります。初回に 300 本、次回の施術時に +200 本をイメージします。



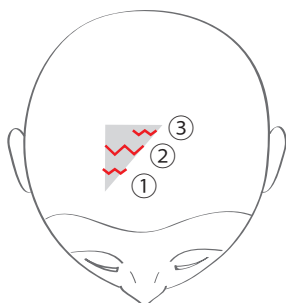
<初回 300 本>

① 6 LOOP×17 束 = 102 本

フロント生え際より 2 cm 上
約 3cm 幅 (黒目の上あたり) で装着

② 6 LOOP×34 束 = 204 本

①のセクションよりも
約 2 cm 上に 4cm 幅で装着



<追加 200 本>

② 6 LOOP×17 束 = 102 本

②のセクションに 17 束 102 本を
5cm 幅で追加装着

③ 6 LOOP×17 束 = 102 本

②のセクションよりも
2cm 上に 3cm 幅で
17 束 102 本をさらに装着
ボリュームを出すため、
センター寄りに装着

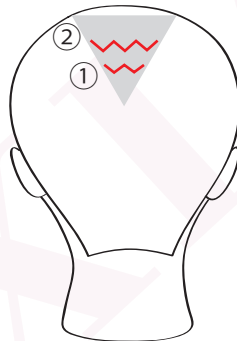


■ バックの施術パターン

パターン1：バックのボリュームを出す



後頭部にボリュームが無く、絶壁に感じるシルエットを修正してフォルムをコントロールします。初回に300本、次回の施術時に+300本をイメージします。



<初回 300本>

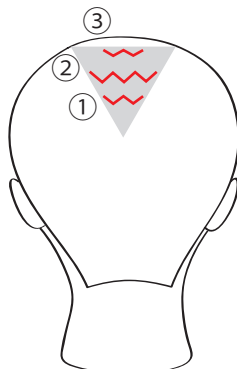
①6LOOP×17束=102本

つむじの5mm上に約3cm幅で装着

②6LOOP×34束=204本

①のセクションよりも

約2cm上に4cm幅で装着



<+300本>

②6LOOP×17束=102本

②のセクションに17束102本を

5cm幅で追加装着

③6LOOP×32束=204本

②のセクションよりも

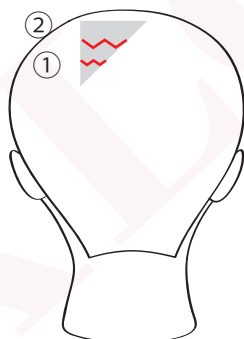
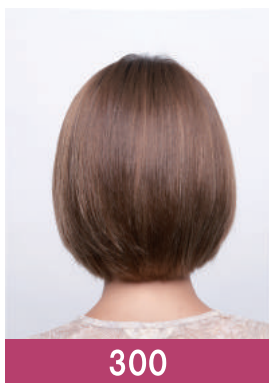
約2cm上に4cm幅で装着



パターン2：バック・つむじの分かれ目が気になる。



地肌が見えてしまう生えクセを修正して
フォルムをコントロールします。初回に300本、
次回の施術時に+300本をイメージします。



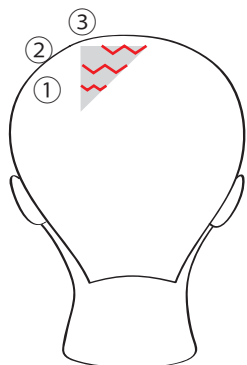
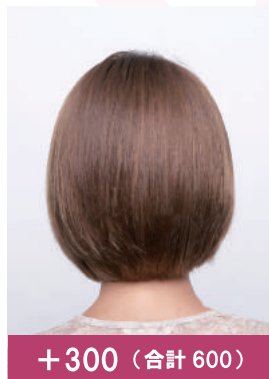
<初回 300本>

①6LOOP×17束=102本

つむじの5mm上に約3cm幅で装着

②6LOOP×34束=204本

①のセクションよりも
約2cm上に4cm幅で装着



<+300本>

②6LOOP×17束=102本

②のセクションに17束102本を
5cm幅で追加装着

③6LOOP×32束=204本

②のセクションよりも
2cm上に4cm幅で
34束204本をさらに装着
ボリュームを出すために
センター寄りに装着

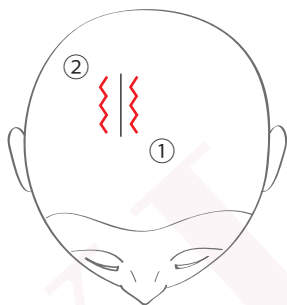


■ トップの施術パターン

トップの高さをつくる



分け目にボリュームが出ない、トップがぺたんこに感じるなどを修正してフォルムをコントロールします。
初回に 300 本、次回の施術時に + 300 本をイメージします。



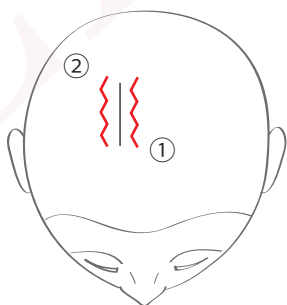
<初回 300 本>

①6LOOP×25 束 = 150 本

頭の一番高い位置からフロントに向かって
分け目の約 1cm 内側に約 3cm 幅で装着

②6LOOP×25 束 = 150 本

頭の一番高い位置からフロントに向かって
分け目の約 1cm 外側に約 3cm 幅で装着



<+300 本>

①6LOOP×25 束 = 150 本

頭の一番高い位置からフロントに向かって
分け目の約 1cm 内側に、約 4cm 幅で装着

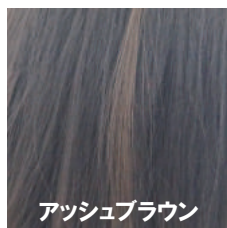
②6LOOP×25 束 = 150 本

頭の一番高い位置からフロントに向かって
分け目の約 1cm 外側に、約 4cm 幅で装着

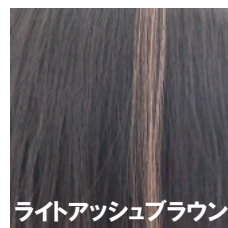
初回で装着した
EXLOOP を避け、立体感を出す
為に、初回よりも長い幅で装着

応用編

●**カラーチョイス**：地毛のトーンと合わせればナチュラルな仕上がりになります。また地毛のトーンよりも2トーン以上差をつければハイライトやローライト効果で立体感を出すことができます。



ナチュラル



ハイライト効果

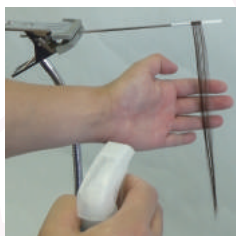
●**形状記憶マックス**：さらに根元の立ち上がりが必要なカール系のデザインやベーシックよりも強いカールをつくります。

※人頭に装着してからのマックス施術は危険ですので、必ず装着前に行ってください。

- カールアイロン：19 ミリカールアイロン
- 温度：170℃
- 時間：40 秒固定



①EXLOOP のストローをニードルなどで固定します。



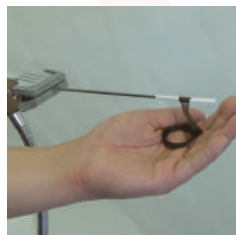
②EXLOOP をスプレーイヤーで湿らせます。MAX の時は先に湿らせることで耐熱とうるおいが出せます。



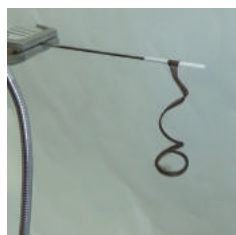
③170℃19 ミリのカールアイロンで根元巻きし、40 秒固定します。



④次に毛先から中間まで同じカールアイロンで巻いていきます。



⑤カールを崩さないようにカールアイロンを抜き、手のひらで冷まします。



⑥冷めたらマックスの形状記憶の完成です。この後は EXLOOP 装着→カット→ウェットと進行していきます。

②の水分が蒸発し水蒸気が出ますのでご注意ください。

※本書では自然脱毛は本数に含めておりません。予めご了承ください。

EXLOOP

Before & After & Styling



税抜参考価格

100本 : 3000円 / 200本 : 6000円 / 300本 : 9000円 / 400本 : 12000円 / 500本 : 15000円

BIOAM
JAPAN

株式会社 BIOAM JAPAN

〒810-0021 福岡市中央区今泉2-5-28ノイラ天神6F

<https://bioam.co.jp>